

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和元年 8月 2日

東員町議会総務建設常任委員会

委員長 大谷 勝治 様

東員町議会総務建設常任委員会

委員 山本 陽一郎

研 修 報 告 書

研修期間	令和元年 7月 22日 (月) ～ 7月 23日 (火) 【 2日間】
研修 (視察) 先	熊本県益城町 熊本県熊本市
目的 (テーマ等)	災害によるライフラインの復旧について 水源かん養地対策についての取り組みについて
資料添付の有無	有 ・ ☐ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。



7月22日に予定された、益城町での（災害によるライフラインの復旧）についての研修は、

当日、地域おける連日の大雨に基づく、大雨洪水警報発令に伴い視察困難と判断され中止となりました。先の大震災を始めとする打続く自然災害により大きな被害を受けられた、町民の皆様に心よりのお見舞いを申し上げ、合わせて益城町の1日も早い復興を願います。

7月23日 熊本市（水源灌養地対策についての取り組みについて）

今回の研修を通じて思う事それは、常時、非常時を（災害時）問わず、人間にとって一番貴重で重要なものは生命を支える水であり、その生命の水を育む大自然の悠久の摂理であろうと考えます。そんな中で市は約74万人の生命の水を守る為に官民一体となり阿蘇山の恵みである世界に誇る地下水を守り伝えていくために、地下水保全活動。地下水質を守る。地下水をつくる。節水。等の取り組みが評価されて2013年3月に、国連。生命の水。最優秀賞を受賞されています。

私も委員会の一人として東員町25,000人余の町民の生命の水を守るために、今回の熊本市の研修を糧として全力を挙げて取り組んでまいります。

熊本 水紀行

2016年4月14日同4月16日に起きた熊本大地震で甚大な被害を受けた、かの加藤清正公ゆかりの熊本城始め、社会ライフライン（上下水道事業）の復旧復興にかけた市民及び行政職員の、肥後もっこす魂しいに對し心よりの敬意とお見舞いを申し上げるところです。

以上